

鎌倉 文庫 の 川端 康成

— 貸本・出版・新人発掘 —

鎌倉文庫は悲惨な敗戦時に唯一つ開かれてゐた

美しい心の窓であつたかと思ふ。

川端康成「貸本店」より

2026.6.6 土 — 7.13 月

午前9時—午後5時 火曜日休館 入館無料



鎌倉文庫の川端康成 — 貸本・出版・新人発掘 —

1945年5月、鎌倉に貸本店「鎌倉文庫」が開店しました。長引く戦争のなか、人々に娯楽を提供するために、鎌倉在住の作家たちが所蔵する本を出しあい、貸し出したのがはじまりです。間もなく迎えた終戦。鎌倉文庫は貸本だけでなく出版にも事業を拡大していきます。

本企画展では、出版が制限され、本が手に入りにくくなった戦争末期、鎌倉の人々に本を手渡し、作家の生活を守り、戦後は三島由紀夫などの新人作家を世に送り出した鎌倉文庫の活動を、書簡や出版物から探ります。その中心となって奮闘した川端康成の、経営者・編集者という知られざる一面にご注目ください。



*横山隆一画 鎌倉文庫ポスター / パネル



*画像提供
鎌倉市

*里見淳書「鎌倉文庫」 / パネル



『人間』創刊号

主な展示内容

◆ 川端康成書簡

- 横光利一宛 (1945年11月2日付)
- 志賀直哉宛 (1946年2月8日付)

◆ 鎌倉文庫刊行書籍

- 中里恒子『まりあんぬ物語』(1947年)
- 三島由紀夫『夜の支度』(1948年)

◆ 鎌倉文庫発行雑誌

- 『人間』
- 『婦人文庫』

関連イベント

◆ 第40回文学講座 (前期) 鎌倉文庫と川端康成

- 6月14日(日) 「鎌倉文庫の出版文化—雑誌や書籍を手掛かりに—」
講師 米子工業高等専門学校 助教 辻 秀平氏
- 6月21日(日) 「鎌倉文士の活動と鎌倉文庫—川端康成を中心に—」
講師 元鎌倉文学館学芸員 山田 雅子氏
- 7月5日(日) 「雑誌『人間』創刊と編集者・木村徳三」
講師 横浜市立大学 教授 庄司 達也氏

—以下共通—

- 時 間：午後2時～4時 (開場 午後1時30分)
- 会 場：川端康成文学館併設 上中条青少年センター 3階会議室
- 定 員：各45人
- 受講料：各700円
- 申 込：6月6日(土) 午前9時30分から
- WEB (右二次元コード) または電話 (072-625-5978)
- ※先着順で受付、定員になり次第締め切ります

◆ 映画上映会「潮騒」1964年 日活 (82分)

- 鎌倉文庫が世に送り出した三島由紀夫原作の映画を上映
- 監督：森永健次郎 主演：吉永小百合
- 日 時：6月18日(木) 午後2時～3時30分 (開場 午後1時30分)
- 会 場：茨木市立男女共生センターローズWAM 地下2階ワムホール
- 申込み不要、当日先着150人、入場無料



講座申込

協力
鎌倉市

(公財) 川端康成記念会

茨木市立 川端康成文学館
Ibaraki Municipal Kawabata Literature Hall

〒567-0881 大阪府茨木市上中条二丁目11-25
TEL 072-625-5978 FAX 072-622-9858

<https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/shimin/bunka/menu/kawabata/index.html>



アクセス

JR 総持寺駅から1.0km、JR 茨木駅から1.4km
阪急茨木市駅から1.3km、名神茨木ICから車で約7分
駐車場有、最初30分無料以降30分毎100円、大型バス要連絡

この印刷物は4,000枚作成し、1枚あたりの単価は22.55円です
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

